

工業「繊維・染色技術」	単位数	2単位
	学科・学年	繊維科・第3学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 繊維製品の製造技術に関する基礎的な技術を習得させる。 2 習得した技術を実際に活用する能力と態度を育てる。
使用教科書・副教材等	新版テキスタイル技術・新版カラーリング技術（実教出版）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	考查範囲
1 学期	1 織物の製造	4	・織物製造の基礎について学習する。	中間
		5	・製織の準備について学習する。	
		6	・織物設計法について学習する。	期末
		7	・織物設計法について学習する。	
2 学期	2 プリント技術	8	・開口運動について学習する。	中間
		9	・よこ入れ運動について学習する。	
		10	・箆打ち運動について学習する。	
		11	・なせんについて学習する。	期末
		12	・なせんについて学習する。	
3 学期	3 工芸染色	1	・各種工芸染色について学習する。	学年末
		2	・各種工芸染色について学習する。	

(2) 評価の観点及び内容

関心・意欲・態度	・繊維製品の製造技術に対し関心を持ち、意欲的に取り組むとともに、実際に活用する態度を身に付けているか。
思考・判断・表現	・繊維製品の製造技術に対しての諸問題を思考し、基礎的・基本的な知識を活用し適切に判断する能力を身に付けているか。 ・各種模様染め技法を理解し、その特徴について考える。 ・適切な専門用語を用いて染色加工の方法や特徴を説明できる。
技能	・繊維製品の製造技術と染色技術およびプリント技術に関する基礎的・基本的な技術を身に付ける。
知識・理解	・繊維製品の製造技術に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、工業の意義や役割を理解しているか。
<p>・成績評価は、定期考査を基本として、上記4つの観点を含めた平常の学習活動・学習態度、ノート・プリント・課題などの提出物、小テスト、出席状況などにより総合的に評価する。</p> <p>・学年末の成績は、第1・2・3学期の評価をもとに総合的に判断して評価する。</p>	

3 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

<p>・普段の生活の中にある繊維製品について興味・関心を持ち積極的に授業に参加するとともに、繊維技術に関する研究開発や環境問題と福祉などにも配慮ができるようにする。</p>
--